

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー柏教室		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 21日		～ 2024年 8月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 7月 21日		～ 2024年 8月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2024年 7月 21日		～ 2024年 8月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先への助言がわかりやすい。	児童発達支援での様子を踏まえ、園で実践できる内容をお伝えするようにしている。	様々な視点から対応を検討できるよう、ケース会議を実施し、職員間での意見交換の場をより多く設けていく。
2	園の様子を分かりやすく保護者様へ伝えている。	担任の先生や園長先生から保護者様に直接伝えることが難しく、間に入り、ご理解いただけるよう言い方を工夫して伝えている。	必要に応じて、関係機関が集まってケース会議を開催する。
3	訪問先で、お子様を取り囲む環境全体の悩み事を相談できる関係性を築けている。	ご利用者様を取り囲むクラスのお子様も巻き込んだ対応策をお伝えしたり、施設内で対策が取れる合理的配慮を提案している。	訪問先施設に向け、療育への理解を深めるイベントを開催する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数や訪問時間をお子様の状況に合わせて対応できていない。	教室状況で訪問に出れる日が限られてしまっているため、頻度を増やすことは現状難しい。	訪問時間は都度お子様の支援が必要な時間を園や保護者様と相談して決定していく。
2	保育所等訪問で持ち運べる教材を作る必要がある。	児童発達支援で用いているものが園生活に必要なものとは限らず、必要に応じて作成し持ち込んでいるが、職員の余裕がなく凝ったものを作れていない。	お子様によって必要な教材は変わってくるため、教材を作っておくことは難しいが、必要な教材があれば職員間で協力し合って時間を確保する必要がある。
3	訪問支援をせっかく実施したのに児童発達支援で共有がされていないことが多い。	訪問記録を支援の対応者が確認できていないことが多い。また、訪問の際や園の先生とお話の内容を発信する時間が取れていない。	訪問の様子や園の先生とお話の内容を共有したり、今後の対応について検討する時間を設けていく必要がある。